

## 雲井龍雄の墓（小塚原回向院・谷中霊園）

幕末の動乱期を憂国の志士、そして情熱の詩人として駆け抜け、若くしてこの世を去った「雲井龍雄」は、天保15年（1844年）に米沢藩士中島総右衛門の次男として生まれ、後に小島家の養子となり小島龍三郎と称しました。雲井龍雄という名は晩年にかけて使用した仮の名前です。

慶応元年（1865年）に藩命により江戸に上り、勤務のかたわら安井息軒の三計塾に通い、全国の英才たちと学び、京都では米沢藩の探索方として活躍しました。

戊辰戦争後は集議院寄宿生に選ばれ、多くの意見書を提出しましたが、明治新政府に取り入れられず、わずか一か月余りで去ることとなりました。その後、新政府に不満を持つ人々を集め「帰順部曲点検所」を組織しましたが、この決起行動により内乱罪で逮捕され、梟首きょうしゅという重い刑に処されました。

「死して死を畏れず、生きて生を偷（ぬす）まず、……」の辞世の句を残し、龍雄は27歳でこの世を去りました。

### ◆延命寺 小塚原刑場跡

東京都荒川区南千住2-34-5

### ◆小塚原回向院 雲井龍雄の墓

東京都荒川区南千住5-33-13

東京メトロ 日比谷線「南千住駅」南口より徒歩1分

JR 常磐線「南千住駅」西口より徒歩2分

### ◆谷中霊園 雲井龍雄の墓（小塚原から改葬後）

JR 山手線・常磐線「日暮里」南口より徒歩7分



延命寺  
小塚原刑場跡



小塚原回向院  
雲井龍雄の墓



谷中霊園  
雲井龍雄の墓

作成 : 2019. 8. 30